
日常が変わった日

白銀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日常が変わった日

【Nコード】

N6144T

【作者名】

白銀

【あらすじ】

ある日、通いなれた道を登校していた高校生2人はあるモノを見つけた

「なあ竜也、あれなんだと思う？」

「あれって？」

「ほら、あの地面で光っている魔法陣みたいなやつ」

「え？ ……あ、本当だ。魔法陣がある。でも、何でだろう？」

「小説とかだったら異世界召喚とかいうやつだろうな」

「？ 何でそう思うの？」

「だってお前がいるから」

「？ 何で僕がいるとそうなるの？」

「だってイケメンじゃん」

「え！？ 僕はイケメンじゃないよ！ そういう大将の方こそイケメンじゃない？」

「バカヤロウ。俺はイケメンじゃねえよ。どっちかっていうと老け顔のオッサンだよ」

「えゝそうかなあ？」

「そうだよ」

「違うと思うんだけどなあ」

「……まあその話は置いてくとして、問題はあの魔法陣だよ」

「そうだね、この道を通らないと学校行けないのに魔法陣が邪魔で通れないよねえ」

「ああ。だからと言って魔法陣を踏んでしまうと取り返しのつかない事になりそうな気がするんだよなあ」

「ふうん。例えば？」

「……これくらい自分で考えようぜ？」

「ええ、大將が考えてくれるから別にいいもん」

「俺はドライモンか!!?」

「大將はあんなヘンテコ青狸じゃないよ!!」

「いや、そこまで言うドライモンが可愛そうに思えるのだが」

「そう？」

「……いや、まあいっか。兎に角、あれを踏んづける。または近寄ると取り返しのつかない面倒事が起きそうな気がするんだよ」

「例えば？」

「……ループした気がするが気のせいとしておくよ……まあザッと例を上げるとしたら……そうだな、勇者召喚辺りが妥当な線だな」

「勇者召喚？　って大将がよく携帯で読んでるので出て来るやつ？」

「そうそう、それだよ」

「へえ……あれ、大将くなんか魔法陣がこっちに近づいてない？」

「ん？　……あ、本当だ。こっちに近づいて、ヤバい！！　逃げるぞ！！」

「うん！！　って、あれ！？　だ、大将くあ、足が動かないよ」

「なに！？　って本当だ！！　全く動かん。どうなってんだ！？」

「だ、大将く！！」

「ぬ、く、クソ！！」

「あ！！　今度は吸い込まれるよ！！」

「クソ！！　どうすることもできねえじゃねえか！！」

「大将！！」

「竜也！！」

「うわあああああああ！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6144t/>

日常が変わった日

2011年10月7日21時45分発行